

大東亞戰爭必勝完遂

幼児の母



昭和十七年三月

幼稚園から

今月は保育修了の月です。お子さん達は、國民學校へあがることを、大よろこびで楽しみにしてゐませう。お母さんの方も、學齡に達した我子の幸福を、心から祝つておられることでせう。まことにお目出度い月であります。

ところで、その喜びの中で、是非更めて氣をつけて頂きたいことは、幼稚園の先生方に對する、お子さん達の感謝の心です。感謝といつても、幼児のことですから、まだ極くあつさりした心持しかないでせうし、それでいいのです。がしかし、何せよ、お子さんが初めて先生といふ人への感謝です。之れは大切なことだと思います。これから後、いろいろの先生にお世話をなられるお子さんとし、師に對する正しい心持といふものを、先づ幼稚園の修了に當つて、初経験する機会が與へられるのです。勿論、それは、物であるお禮といつたことではあります。ほんとうの謝恩の心を、幼児ながらよく持たせることがあります。先生の前にあらはせることも必要ですが、それ以上、心の内によく感じさせることです。それには、家庭の人の心持が先づさきでせう。それがおのづから子どもたちの心に傳はるのです。わが子の初めての先生は幼稚園の先生です。

○物の方では、時節柄なるべく節約方針で、出來ることなら兄さん姉さんのものを使ふことにしたいものです。但、その場合、よく洗ふとか、寸法をなすとか、つくるひをなすとか、丁寧に氣をつけなくてはいけません。「お古でいいんだよ」とよこれだまゝなんかなはいけません。といつたことはありません。ほんとうの謝恩の心を、幼児ながらよく持たせることがあります。先生の前にあらはせることも必要ですが、それ以上、心の内によく感じさせることです。それは、家庭の人の心持が先づさきでせう。それがおのづから子どもたちの心に傳はるのです。わが子の初めての先生は幼稚園の先生です。

○入學日は、何はなくとも家庭のお祝ひをして下さい。常なら赤飯の日です。